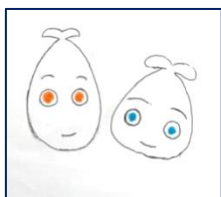


来場者 92 名（会員 48、会員招待 10、招待 1、一般大人 18、一般子ども 15）
 会員参加率 58%

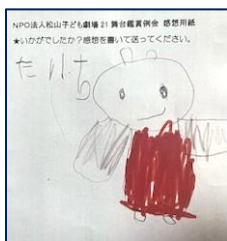
【みんなの感想】 こども

- ・ぶうちゃんおもしろかった(一般・5才)
- ・ぼうしがたのしかった！！
 さかなつりもまけないくらいたのしかった！！ぼうしのもまね？がすきだった！！(会員・6才)

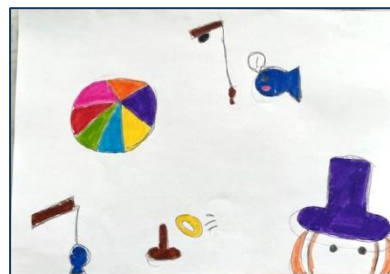


・裏側のしかけがたくさんあって、手作りだったりするのがすごいなと思いました。水しぶきと全く違う音源を流してもらったのがおもしろかったです。2人でたくさんのかかけをつかえるように、簡単にできるしかけや、モーターなどを使っているのがすごいと思いました。ピノがカボよりもすごいことをしようとするのが、兄弟でよくあるようなことだったので、そんな話が思いつくのがすごいと思いました。

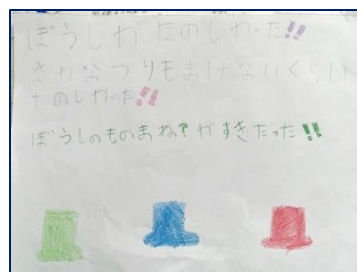
(会員・高2)



・カボとピノの裏側がとてもしごかったです。とくにおもしろかったのは「たまのり」と「わなげ」です。「たまのり」ではピノが家の屋根からかきをもっておるとちょうどなくなったたまの上ののってトランポリンみたいにやっていてすごかったです。「わなげ」では、カボが短いきよりでやっても入らなかったのにピノは、他の人の力をかりてわなげをせいこうさせて本当にピノはすごいと思いました。次に来たときには5回以上質問をしてみます。(会員・小6)



・ブーがとんでったのがおもしろかった！
ちくわやと思ったのにえんぴつだったり、
パイナップルやと思ったのに魚やって
面白かった。魚が思ったより大きかって
ビックリした！
(事後交流会で魚を出してもらったのを見て)
玉乗り、自分もできそう！と思った。
魚つりやってみたい！と思った。(会員)



「ピノがたべられたのに、そのまま
(無事に) できたのがふしぎだった！」

【みんなの感想】おとな

- ・飛ぶ様子がステキだった。
(はらぺこブーの最後の、ブーが飛んでいく様子。カボとピノのカボがかさでフワフワとおりてくる様子。)交流会がたのしかった。舞台の暗幕をはずして仕組みまで見せていただき、サービス精神が嬉しかった。(会員)
- ・とても楽しくほのぼのとした時間をありがとうございました。セットのカラクリも分かり、感心しました。関西出身なので、関西弁のかけ合い、面白かったです。(一般)
- ・大人も楽しい!!裏舞台も見せていただき、工夫の数々に感心しました。特に水のはね上げの表現が細やかで新鮮！ますます人形劇に興味がわきました。
(会員)
- ・子どもの楽しそうな笑い声と、大人のクスクス笑う声、どちらもが会場から聞える楽しい例会でした。ココンさんの作品は、松山の例会では3度目、他所でも2.3度観ていますが、観れば観るほど“ココン・ワールド”の沼にハマっていくようです。終演後の交流会では温かいお人柄に触れることもでき、大満足の日になりました。ありがとうございました♥(会員)

・音楽がとてもオシャレで人形たちの雰囲気ともよく合っていてとても素敵でした。子どもたちと観ると、子どもたちの笑いのツボが大人と違うところもわかって楽しかったです！最後の交流もとても楽しかったです。コロンさん、スタッフの皆さん、ありがとうございます☺(一般)

・カボとピノの兄弟の話、まさにウチの息子たち！と思いながら見ました。弟は兄のことを年上とは思っていないとか、同じようにできる！と思っているところ、そして偶然にも弟の方が兄よりすごいことやっちゃう！みたいなこと。側からみるととっても面白いのに仲介者になるとどうしてイライラしてしまうのか…？笑

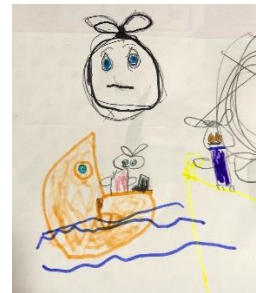
日常とリンクする感情も多く、しばらくはカボとピノのことを思い出して兄弟の取り合いもケンカも多目に見れたら良いな～と思います！

人形劇の後、上の子はカボで下の子はピノだね～と話していると、その役になりきってカボピノごっこ？をしていました！

家ではパンフレットを見て絵を描いたり(描かされたりw)、人形劇のことを思い出して話したり…まだしばらくカボピノブームは続きそうです！

心に残る楽しい時間をありがとうございました

♥(会員)



例会当番のまとめ

みなみブロック 弓立佳子



新型コロナウイルスが2類から5類に移行して初めての例会。

今までは例会時でもラインでの打ち合わせが主だったけど、久しぶりにリアルで集まったの打ち合わせ。最近ではゆっくり話すことができなかったので、たくさん近況報告しつつ役割分担。やっぱり集まって話ができるのはブロックならでは。

舞台鑑賞部主催の事前企画「こども屋台」にブロックの子どもたちも参加し、ウェルカムボードと例会場で渡す色紙を作成しました。例会にむけての期待UP。 例会当日はブロック総出で準備にいそしみました。ロビーの飾りつけや検温・もぎり・挨拶もお手のもの。劇団さんとの交流会でもいろいろな質問をして、より作品が深まりました。

後片付けでも舞台裏がどうなっているのか？興味津々としつつも、しっかり片付け。楽しい1日となりました。

【舞台鑑賞事業部より】

事前企画 こども屋台 5月7日（日）11時から 松山市総合福祉センター

参加者：子ども7人、大人6人

カボとピノのテーマにもあった「さかなつり」と「わなげ」を手作りし、同日午後からの総会が始まる前に子どもたちが店長さん、大人がお客さんで、屋台の時間を設けました。子ども主体に遊びこむには時間が短く、もっと余裕を持ったスケジュールにできればよかったですのですが、子どもたちは制作をしたり、できたもので遊んだり、屋台の準備から片付けまで積極的に取り組んでくれました。



事後 「ココンさんに聞いてみよう！交流会」

終演後、15分という限られた時間でしたが、プレゼント渡し後すぐに始めたことでほとんどの方が残ってくださり、たくさんの方に参加してもらえました。子どもから大人まで様々な質問に答えてもらい、人形や舞台装置の動きや仕組みを分かりやすく見せてもらいました。なかなか見られない舞台裏や制作で工夫されていることなどが聞けて、とても貴重な時間になりました。



事後 アフタートーク

5月21日（日）10時から、コムズ第4会議室 参加者：子ども4人、大人6人

「カボとピノ」と「はらぺこブー」の2作品、どちらが好きだった？と聞いたところ子どもたちは全員カボとピノ。はらぺこブーを楽しんでいる子が多かったように思っていたので意外でしたが、子どもたちのほうがお話の内容をよく覚えていて、大人も子どもも一緒になって例会を振り返ることができました。

兄弟って…おもしろい！

舞台鑑賞事業部 小浦 薫

人形劇団ココンは前回(2019年)の「チャハハ丸とへへ丸」で観た糸操りの人形劇を専門とする劇団ですが、今回の「カボとピノ」は手遣い・棒遣いの人形劇。また、山田さん一人ではなく府金さんと、相方が変わって二人で上演とのことでした。

ぐ〜とお腹の鳴る音から始まると会場はすぐに笑いでいっぱい！ブーの食べ物を探すため山田さんが会場を出て買いに行くという人形劇では想像のつかない展開にどよめきがおきます。残されたブーは一人で食べ物を探しますがなかなか食べ物にありつけず、男の子から羽をもらい飛び立ったところでおじさんが帰ってきました。何で飛んでったの？どこに行ったの？と、何とも不思議な気持ちが残りましたが、ほのぼのとした心地よいBGMで「カボとピノ」が始まります。兄弟ならよくあるやり取りに、お兄ちゃんが譲ってあげたら良いのに！弟がもうちょっと我慢できれば良いのに！二人で仲良くできたら良いのに！と、お兄ちゃん目線・弟目線・親目線…それぞれの立場で色々に感じ楽しめるお話でした。

カボとピノは架空の国に住むと紹介されていましたが、どこの世界でも兄弟って一緒に過ごす中で取り合い、言い合い、喧嘩しながらもお互いを認め、成長していくのだなと、今まさに兄弟の子育てをしながら、子どもならではのやり取りの面白さに耳を傾けて過ごしていきたいなと思いました。

人形劇の中では一つのものが色々なものに見える工夫や、次のお話へつながるヒントが散りばめられていて、テーマごとに完結したお話でありながら全てが繋がっている面白さもありました。固定観念にとらわれず柔軟に見る力、想像力が膨らんだ1時間でした。

終演後のココンさんとの交流会では子どもたちからの何で？がたくさん出てきて、特にブーが飛んでった謎、出てきた男の子は誰？と、はらぺこブーのその後がきになった様子でした。聞いてもわからない、ファンタジーで終わらせたい山田さんと、カボとピノの舞台裏を包み隠さず見せてくれ、人形劇に興味を持って聞いてくれることに喜びを感じている嬉しそうな山田さんの姿が印象的でした。